

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 10 巻第 35 号

第 35 週 (8月30日～ 9月5日)

発行年月日:平成22年(2010年) 9月 9日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

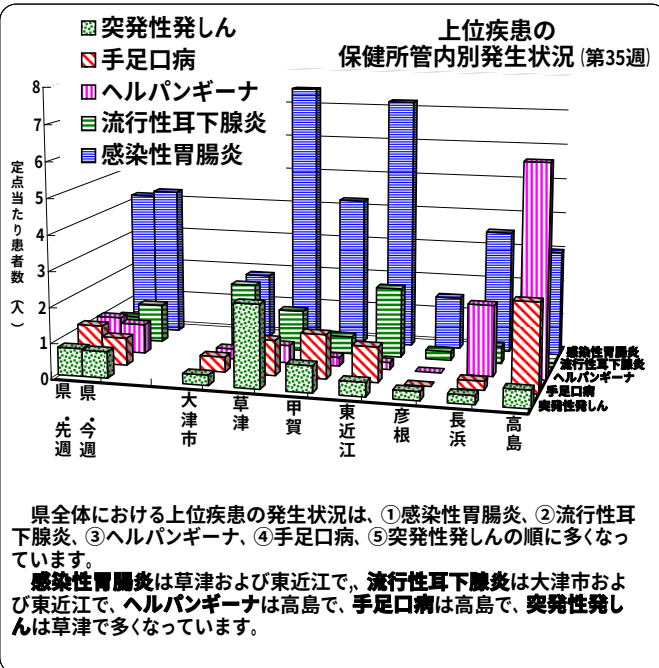
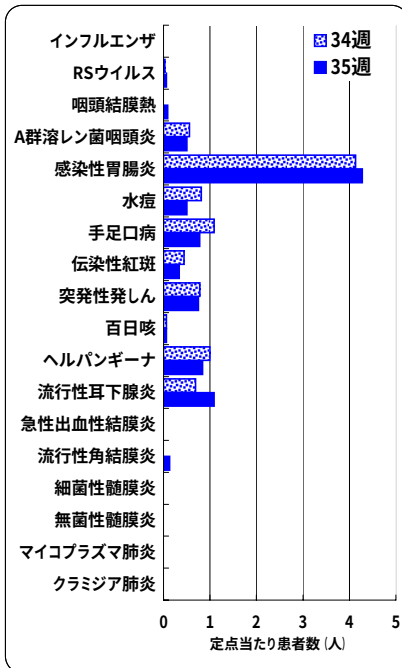
◆腸管出血性大腸菌感染症の発生は、今年になって23例目

★一類～五類全数報告感染症の発生状況 (第 35 週)

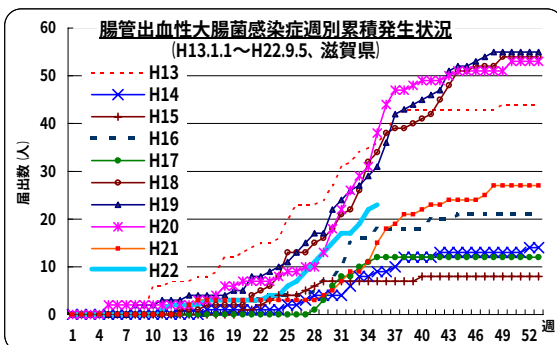
- ・一類感染症----報告はありません
- ・二類感染症----**結核 4名**
- ・三類感染症----**腸管出血性大腸菌感染症 1名** (患者、血清型・毒素型: O157・VT1VT2)
- ・四類感染症----報告はありません
- ・五類感染症----**ジアルジア症 1名** (推定感染地域: 米国)
風しん 1名 (臨床診断例、年齢: 14歳、ワクチン接種歴: 無し)

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況 (先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週 (307名) より微減し、今週は299名となっています。今週増加した疾患は、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) 等で、減少した疾患は、水痘、手足口病、伝染性紅斑 (リンゴ病)、ヘルパンギーナ等です。(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。
「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、ヘルパンギーナでは、高島保健所管内で警報終息基準値 (2.00) を超えています。



★腸管出血性大腸菌感染症の発生状況 (平成13年～平成22年、滋賀県)



平成22年9月5日現在における届出数23名の内訳は、男性 10名、女性 13名、診断の類型は患者 17名、無症状病原体保有者 6名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1&VT2 16名 (HUS1名を含む)
O157・VT2 3名、O157・VT1 1名、O91・VT1 1名
O111・VT1&VT2 2名

年齢は0～9歳 10名、10～19歳 2名、20～29歳 5名
40～49歳 3名、50～59歳 1名、70歳以上 2名です。

届出保健所管内別は

大津市 5名、草津 7名、甲賀 0名、東近江 6名、彦根 1名、長浜 3名、高島 1名です。

1. 全数報告感染症（一類～五類）の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成22年 累積報告数		平成21年 累積報告数 ^(※1)		平成20年 累積報告数	
		滋賀 ^(※2) (35週)	全 国 ^(※2) (34週 ^注)	滋賀	全 国 ^(※2)	滋賀	全 国 ^(※2)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	159	16,416	256	26,932	282	28,419
三 類 感 染 症	コレラ	0	6	1	16	0	45
	細菌性赤痢	2	121	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	23	2,617	27	3,886	53	4,322
	パラチフス	1	14	0	27	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	46	1	56	0	43
	A型肝炎	3	296	0	115	3	170
	オウム病	1	7	0	21	0	9
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	126	0	93	2	104
	マラリア	0	47	0	56	1	56
五 類 感 染 症	レジオネラ症	5	463	8	712	10	893
	アメーバ赤痢	3	538	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	2	129	3	220	5	241
	急性脳炎	0	159	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	105	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	85	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	954	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	1	49	0	73	1	75
	梅毒	6	395	3	692	5	839
	破傷風	0	64	3	113	5	123
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	69	0	116	0	80
	風しん	6	67	2	148	2	309
新型インフルエンザ 等感染症	麻しん	3	360	7	739	39	11,015
	新型インフルエンザ (H1N1) ^(※3)	0	0	138	12,639	- ^(※4)	- ^(※4)

注：35週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

- ※1: 感染症発生動向調査年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月）。
- ※2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています（国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照）。
- ※3: 感染症法の一部改正（平成21年7月24日施行）により届出の対象となった報告数です（届出期間：平成21年7月24日～8月24日）。
- ※4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一か所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです（患者報告数＝定点当たり患者数×定点数）。

(1) 疾病別・週別発生状況（平成22年第30～35週、7/26～9/5）

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数（↑前週より増加 →前週と同じ ↓前週より減少）										
			30週 7/26～	31週 8/2～	32週 8/9～	33週 8/16～	34週 8/23～	35週 8/30～	週				
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.02	0.02	0	0	0	0	→	↓	→	→	→
小児科	32	RSウイルス感染症	0	0	0	0.06	0.03	0.06	→	→	↑	↓	↑
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.16	0	0.13	0	0	0.09	↓	↑	↓	→	↑
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.44	0.38	0.31	0.56	0.50	↓	↑	↓	↑	↓
		感染性胃腸炎	3.31	2.91	3.06	2.97	4.13	4.28	↓	↑	↓	↑	↑
		水痘	1.47	0.69	1.06	0.91	0.81	0.50	↓	↑	↓	↓	↓
		手足口病	3.69	2.88	1.88	1.84	1.09	0.78	↓	↓	↓	↓	↓
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0.38	0.50	0.50	0.44	0.44	0.34	↑	→	↓	→	↓
		突発性発しん	0.56	0.63	0.66	0.66	0.78	0.75	↑	↑	→	↑	↓
		百日咳	0	0	0	0.06	0.06	0.06	→	→	↑	→	→
		ヘルパンギーナ	3.94	2.88	1.69	1.16	1.00	0.84	↓	↓	↓	↓	↓
眼科	8	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	1.03	0.59	1.09	0.91	0.69	1.09	↓	↑	↓	↓	↑
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
基幹	7	流行性角結膜炎	0	0.13	0.38	0	0	0.13	↑	↑	↓	→	↑
		細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.14	0.14	0.29	0.43	0	0	→	↑	↑	↓	→
基幹	7	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向………感染性胃腸炎、突発性発しん

減少傾向………水痘、手足口病、ヘルパンギーナ

(2)疾病別・保健所管内別発生状況 (第 35 週、8/30～9/5)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)		
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0			
RSウイルス感染症	0.06	0.14	0.17	0	0	0	0	0			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0	0.17	0	0.40	0	0	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	1.33	0.25	0.60	0.25	0.50	0			
感染性胃腸炎	4.28	1.86	7.50	4.25	7.20	1.50	3.50	3.00			
水痘	0.50	0.71	0.83	0.25	0.60	0	0.25	0.50			
手足口病	0.78	0.43	1.00	1.25	1.00	0	0.25	2.50			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.34	0	0.67	0.25	1.00	0	0.25	0			
突発性発しん	0.75	0.29	2.33	0.75	0.40	0.25	0.25	0.50			
百日咳	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0.84	0.29	0.50	0.25	0.20	0	2.00	6.00			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.09	1.86	1.17	0.50	2.00	0.25	0.50	0			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.13	0	1.00	0	0	0	0	0			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			

赤・太字

は警報発生基準値を超えています。

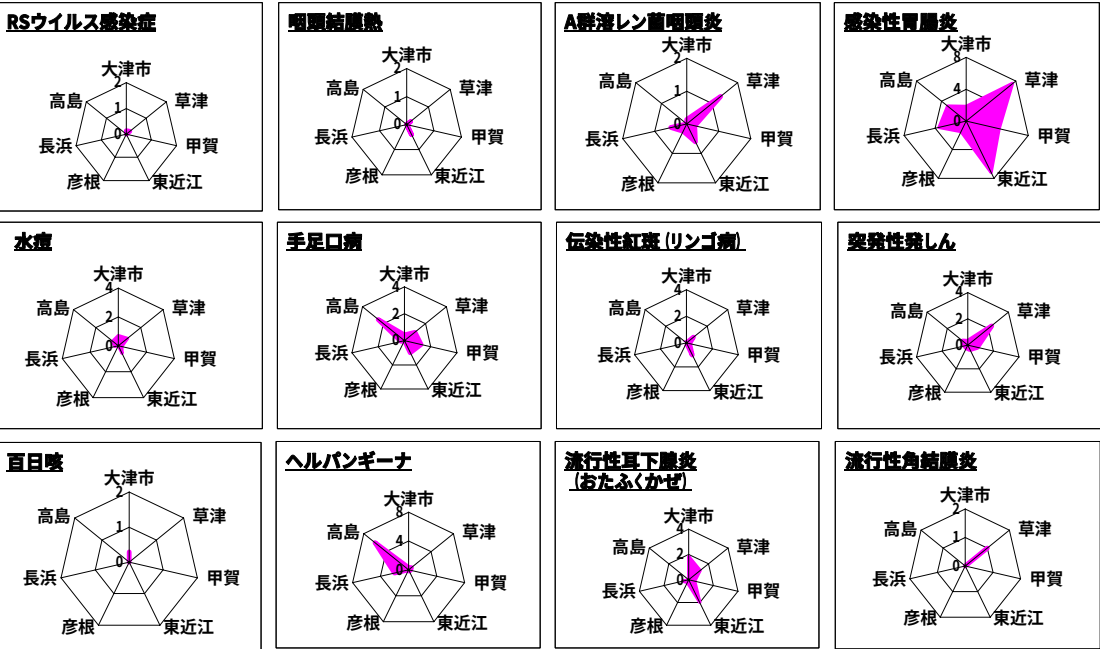
青緑・太字

は注意報発生基準値を超えています。

0246

定点当たり患者数

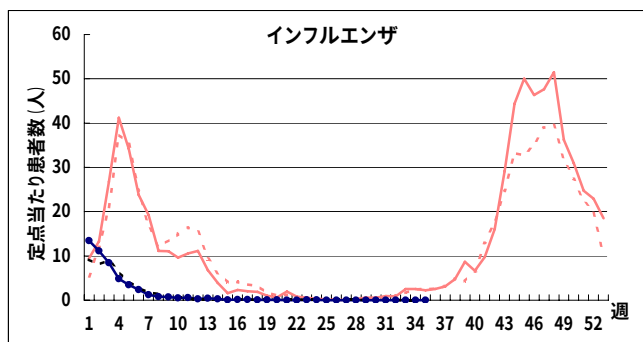
疾患別・保健所管内別発生状況 (定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

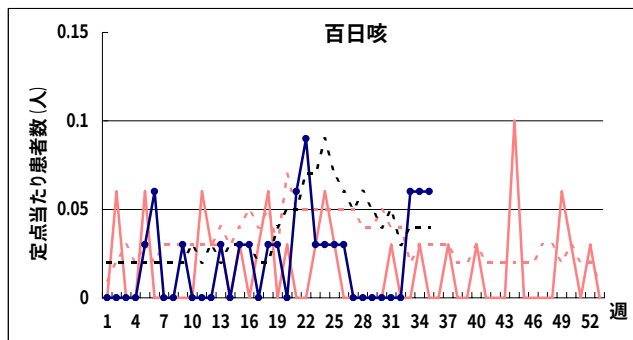
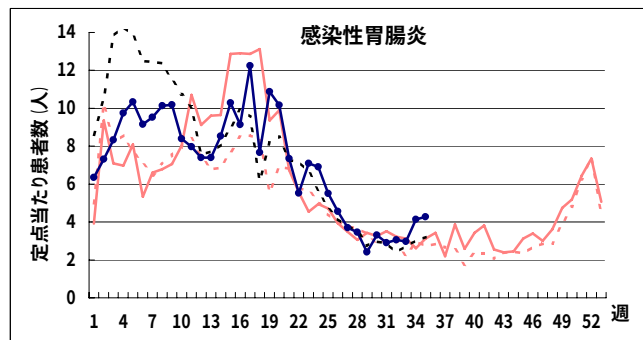
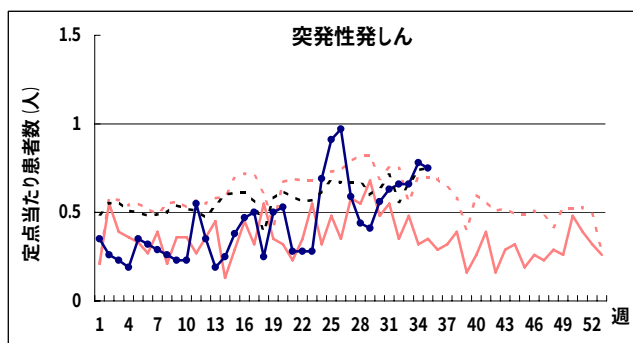
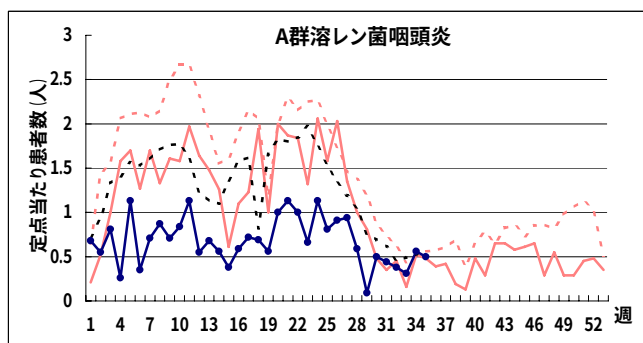
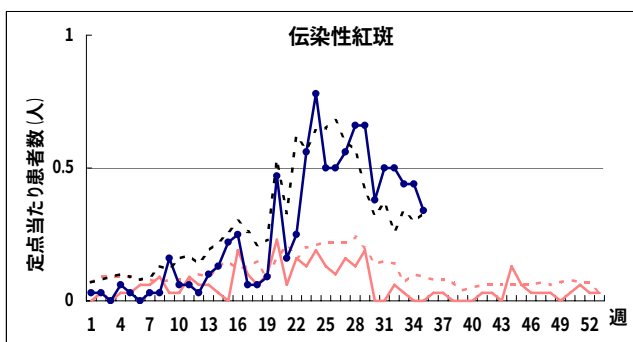
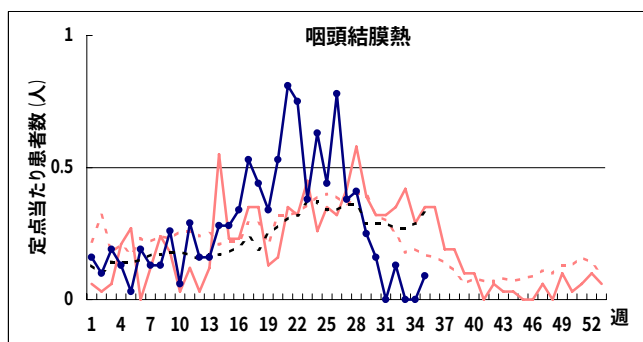
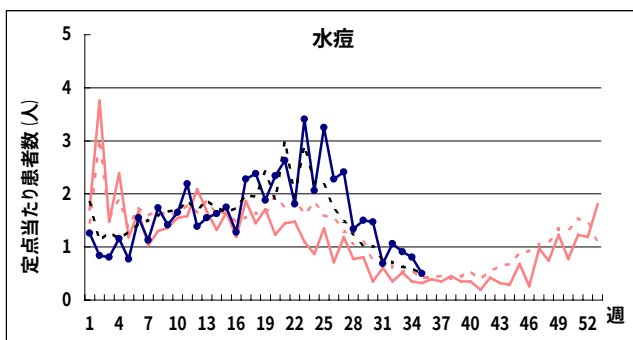
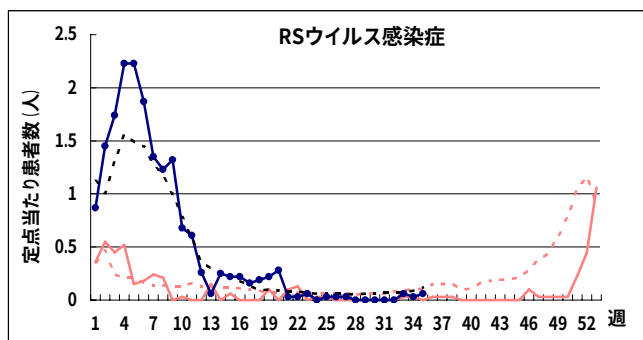
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週より微増となり、草津および東近江保健所管内で多くなっています。また、東近江および高島では、先週より急増しています。
- 水痘-----県全体では先週より減少し、特に、大津市および東近江保健所管内で大幅に減少しています。
- 手足口病-----県全体では減少傾向を示しています。東近江保健所管内では先週のほぼ半減となり、定点当たり患者数は1.00で、警報終息基準値(2.00)未滿となっています。また、高島保健所管内では急増しています。
- 伝染性紅斑-----草津保健所管内では先週に引き続き減少し、第33週(8/16～8/22)以降、連続して減少しています。
- 突発性発しん-----県全体では先週とほぼ横ばいですが、草津保健所管内でやや多い状態となっています。
- 百日咳-----先週と同様、大津市保健所管内からの報告で、年齢は20歳以上となっています。
- ヘルパンギーナ-----県全体では減少傾向を示しています。草津保健所管内では先週より大幅に減少していますが、高島保健所管内では多い状態が続いています。
- 流行性耳下腺炎-----県全体では先週より増加しています。草津保健所管内では先週より半減し、大津市および東近江保健所管内では急増しています。

疾病別定点当たり患者数 (平成22年第 1～35 週、H22.1.4～H22.9.5)

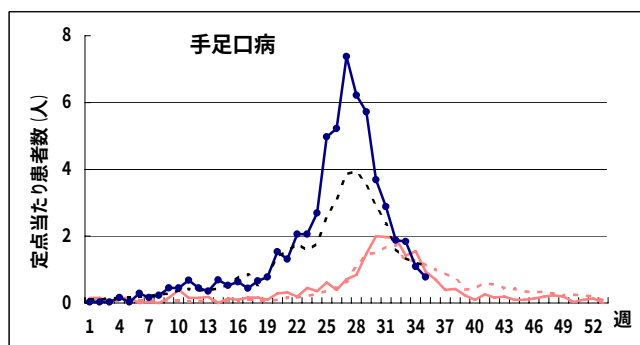


H21 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H22 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数 (平成22年第 1～35 週、H22.1.4～H22.9.5)



H21 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H22 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)

